

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立北巽小

学校

児童数

34

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.26	22.89	30.16	42.68	46.63	9.41	151.58	23.37	55.11
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.60	17.60	33.71	39.27	34.27	9.87	141.33	13.40	52.64
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校の今年度の課題である「立ち幅跳び」の結果は、男子は全国平均を1.16ポイント上回ることができたが、女子は大阪市平均を上回ることができたものの、全国平均を1.8ポイント下回った。また、男子は8種目中6種目で全国平均を上回り、体力合計点も全国より2.58ポイント上回ったが、女子は8種目中2種目で全国平均を上回ったものの、体力合計点も全国より1.28ポイント下回った。男女ともに、「長座体前屈」の柔軟運動系と「20mシャトルラン」の持久運動系の項目で全国平均を下回り、次年度への特に課題と言える。

また、質問項目の「運動やスポーツをすることは好きですか」について肯定的に回答する児童の割合は、男子は100%（全国93.2%）で6.8%上回ったが、女子は78.5%（全国86.2%）で7.7%下回った。同様に「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」は、男子は5.6%（全国9.2%）で3.6%上回ったが、女子は21.4%（全国16.0%）で5.4%下回った。いずれの質問項目も女子の運動への意識や意欲の面に課題があることが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

年間を通じて、学校全体で「北巽モリモリランド」「みんな遊び」などの休み時間に体を動かす取り組みで跳ぶ活動を中心に行ったことで、今年度の課題である「立ち幅跳び」の結果は、男子で全国平均を上回ることができた。また、「運動やスポーツをすることは好きですか」「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」の質問項目について肯定的に回答する児童の割合が男子は全国を上回ることができた。体育の学習や、休み時間の取り組みが結果に反映されたと言える。

次年度に向けての課題面としては、女子の「立ち幅跳び」、男女ともに「長座体前屈」と「20mシャトルラン」の項目で全国平均を下回ったので、体育の学習や休み時間の取り組みの際に、今年度同様に跳ぶ活動に加え、柔軟運動系と持久運動系の活動を積極的に取り入れていく必要がある。また、トップアスリートによる本物からの指導（出前授業）を取り入れたり、運動の楽しさや大切さをこれまで以上に伝えたり、活動時間をさらに確保したりするなどして、特に女子の運動への意識や意欲の向上につながる活動を取り入れていく必要がある。